

注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【タイトル】

『高町なのはが天国へ行く方法を記したノートを持っていたら』予告編

【作者名】

パトラック

【あらすじ】

いつ投稿出来るかわからないので、先にこんな感じの短編を投稿します。やってみたくなっただんです。後悔はしていない。本編内で出さないセリフがあるかもです。

『高町なのはが天国へ行く方法を記したノートを持っていたら』予告編

それは一冊のノートだった。

少し汚れてはいたが、使う事に問題は無いようなノートだった。

家には私以外誰もいなくて、寂しさを紛らわせようと思って家の中を見て回った時に、物置から見つけたのだ。

私はこれを日記帳か何かに活用しようと考えた。

そうすれば少しは時間を潰す事が出来るかもしれないからだ。

だが、私は思った。

もしかしたら、誰かが使った物かもしれない、と。

気になったのでノートを開いてみると、文字が書かれていた。日本語では無いようだ。

ふと、これを読んでみたいという気持ちが湧き上がってきた。

人の物を勝手に読むではいけないんじゃないか、と思ったが、ちよつと位は良いだろうという誘惑に負けて、部屋に持って帰って読むことにした。辞書は使おう。

そして私は部屋に戻った。

これが、私ーーーーー高町なのはの人生を変える出来事の始まりだった。

彼女は、数年後再び劇的な出会いをする。

それが、高町なのはの長い物語の始まりとなるのだった。

異世界の技術、『魔法』―――。

「す、凄い……………何て魔力量だ……………」

「これは……『馴染む』……とても『馴染む』ッ!!」

魔導師である少女との戦い……。

「あなたの目的は何なの？」

「………言う必要は無い」

狂気に侵された魔女……。

「過去ってというのは人を雁字搦めにする………あなたがまさにそうだ

よ、プレシミアちゃん」

「……………そうね。本当にその通り。だからと言って、私はここで終わるつもりなど無いわ!!!」

己の主の為に奔走する騎士—————。

「グラーフアイゼン……………ハンマーか……………だけど、ブンブン振るならッ!!この私の前で！白旗でも振っている方が似合っているよッ!!」

「て、てんめええええええええ!!!」

呪われし書の管理者—————。

「止めるッ!!絶対に止めてみせるッ!!行くぞッ!リンカーコアの魔力を全開だッ!!」

魔法少女リリカルなのは、
星光^{スターライト}は滅びない

始まる……かも？